

## TOPICS

### キンドリルジャパンと金融業界向けIT領域で協業を開始

—金融業界向けDX推進を目指す—  
ITインフラを提供するキンドリルジャパン(株)とアプリケーションやITインフラを構築するためのIT資源、要員、DX推進サービスを共同で提供することにより、開発から運用・保守までをシームレスに支援することが可能となりました。



### 連結子会社eekを設立

—高成長が見込まれるeスポーツ事業に参入—  
急拡大するeスポーツ業界において、コンサルティング・エージェントを手掛ける(株)eekを設立しました。Z世代におけるソルクシーズの知名度を高めるとともに、中長期での事業シナジー、ストックビジネスへの貢献に期待しています。



### Fleekdrive「電子帳簿保存法オプション」をリリース

(株)Fleekdriveは、2022年1月に施行された改正電子帳簿保存法に対応した「電子帳簿保存法オプション」をリリースしました。法律で求められる5つの要件(保存義務、真実性の確保、関連書類の備付、見読性の確保、検索性の確保)をクリアした各種書類の保管が可能です。



### 世界有数の画像解析AI技術を保有するサイバーコアと資本業務提携

CVPR(画像解析の世界コンペティション)で2年連続1位を獲得するなどのAI技術力を誇る、グローバルエンジニア集団(株)サイバーコアと資本業務提携を締結しました。  
独自に開発したアルゴリズムは、高い認識精度・データ圧縮技術による高速化・ロバスト性の画像認識に重要な3つの要素を全て保有することから、画像認識課題に対して現実的な価格でのソリューション提供が可能となります。また、ソルクシーズグループのIoTソリューションや技術を合わせた新サービスの開発にも取り組んでまいります。



### IoTによる見守り支援システム「いまイルモ」 コミュニケーションロボット「Kebbi Air」と連携

IoTによる見守り支援システム「いまイルモ」では、NUWAロボティクスJAPAN(株)のコミュニケーションロボット「Kebbi Air」を使った新しい見守りシステム「いまイルモ Kebbi Air」を開発しました。



### ソルクシーズグループSDGsの取り組みが外務省ホームページ「JAPAN SDGs Action Platform」に事例の1つとして掲載

ソルクシーズグループのSDGsの取り組みについて、SDGs17の目標のうち、3と7と9が外務省ホームページ「JAPAN SDGs Action Platform」に事例の1つとして掲載されました。引き続きSDGsを推進し、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

### 機関投資家・アナリスト向け説明会を開催

機関投資家・アナリスト向けの説明会やスモールミーティングに加え、個人投資家向け説明会を再開しました。今後も定期的に開催し、より一層の情報公開に努めてまいります。



### IRニュースをメールで通知

決算情報などのニュースをタイムリーに無料でお届けします。当社HPよりメールアドレスを登録して下さい。

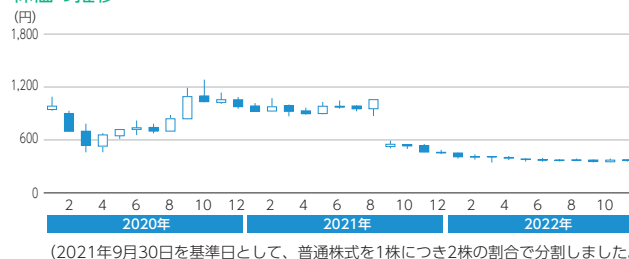


## 株主メモ

決算期 12月31日  
定時株主総会 3月下旬  
基準日 毎年 12月31日  
配当金受領株主確定日：6月30日および12月31日  
その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めます。

1単元の株式の数 100株  
株主名簿管理人 (兼 特別口座管理機関) 〒183-0044 東京都府中市日綱町1-1  
三菱UFJ信託銀行株式会社  
郵便物ご送付 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
TEL. 0120-232-711(フリーダイヤル)  
電話お問合わせ先  
公告方法 電子公告により、ホームページ  
(https://www.solxyz.co.jp)に掲載します。

### 株価の推移



## 会社情報

社名 株式会社ソルクシーズ(東証プライム 証券コード:4284)  
設立 1981年2月4日  
資本金 14億9,450万円  
事業内容 SI/受託開発業務(システムコンサルティング、システムの設計・開発・運用・保守)、ソリューション業務(セキュリティコンサルティング、パッケージシステムの開発・販売・保守)および関連機器の販売等  
所在地 [本社]  
〒108-0023 東京都港区芝浦3-1-21田町ステーションタワーS 13F  
TEL. 03-6722-5011(代表) FAX. 03-6722-5021  
[東京ANNEX]  
〒108-0022 東京都港区海岸3-9-15LOOP-X 6F  
[福岡営業所]  
〒812-0038 福岡県福岡市博多区祇園町4-2  
TEL. 092-283-8411 FAX. 092-283-8412  
従業員数 488名(グループ計786名)  
エンジニア425名、営業スタッフ26名、その他37名  
URL https://www.solxyz.co.jp  
子会社 株式会社エフ・エフ・ソル、株式会社イー・アイ・ソル、株式会社インフィニットコンサルティング、株式会社ノイマン、株式会社エクスマーシオン、株式会社コアネクスト、株式会社アスウェア、株式会社Fleekdrive、アセアン・ドライビングスクール・ネットワーク合同会社、株式会社アリアドネ・インターナショナル・コンサルティング、株式会社eek

# 第43期 ソルクシーズ株主通信

2022年1月1日～2022年12月31日

私たちはお客様の夢を実現する  
ソリューション・カンパニーを目指しています  
お客様の業務改革を支えるのは、大胆で独創的な発想力、そして、迅速な対応力



証券コード:4284

# 2023年は“飛躍の年”

—これまでの努力が花開き、  
実り始める飛躍の年—



前期(2022年12月期)の総括や  
今後の成長戦略等について、  
代表取締役社長の長尾章より  
ご説明いたします。

連結業績予想を下回る結果となりました。この要因は、開発リソースの要員不足に起因する受注機会の損失、および半導体不足に伴う受注・納品の遅れによる売上計上の期ズレ、加えて円安進行によるコスト上昇、収益認識に関する会計基準適用の影響などが挙げられます。2023年12月期においては、半導体不足および過度な円安は緩やかに解消する見通しであり、また、収益認識に関する会計基準適用による一時的な影響も無くなると見込んでいます。

## Q 取り組みと活動状況

**A** セグメント毎に売上維持・拡大に向けた事業施策に注力するとともに、DX関連を中心に以下の戦略施策を推進・実施し、将来の成長を脱んだ事業基盤の強化に努めました。第一弾としてグローバルにインフラビジネスを展開するキンドリルジャパン(株)と金融業界向けIT領域で協業を開始しました。これにより、当社が得意とするクレジット領域において、ITインフラと業務ソリューションを組み合わせた提案が可能となりました。次に、SBIグループが中小企業のDX化を推進するサービス「SBI DXデータベース」に参画し、提携地方銀行が当社クラウドサービス「Fleekdrive」を取引先に紹介するというビジネススキームを構築しました。今後、DXデータベースへ登録するソリューションを順次追加する予定です。

グループ戦略においては、今後成長が期待されるeスポーツ業界に特化したコンサルティング事業を行う(株)eek (イーク)を2022年7月に設立しました。大幅な成長が期待されるeスポーツ業界に布石を打つとともに、Z世代への当社の知名度向上にも繋げてまいります。

最後に、世界のAIコンペティションで多くの受賞歴のある画像処理・画像解析のプロフェッショナル集団である(株)サイバーコアとの資本業務提携を実現しました。画像によるセンシング需要は年々高まっており、本提携により新たなソリューションを創出できると確信しております。

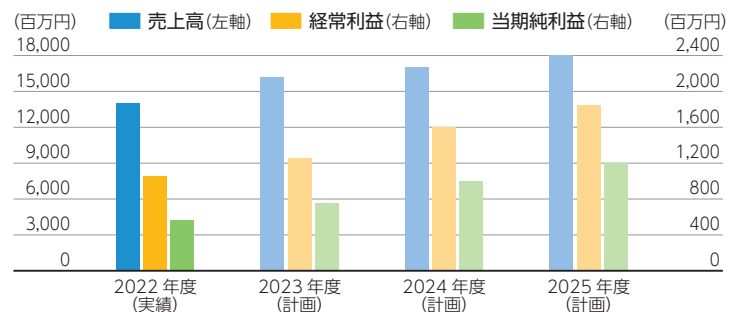
## Q 前期の総括

**A** 2022年度を振り返りますと、我が国経済は、新型コロナウイルス禍から脱する過程に徐々に移行しましたが、急激な円安、ウクライナ戦争等による原油・原材料等輸入材の高騰や世界的な半導体不足等も加わり、一部業種では大きな影響が出ました。一方で、国内IT投資については、デジタルトランスフォーメーション(DX)投資を中心に、総じて堅調に推移しましたが、エッジコンピューティング系開発等の分野で半導体不足による受注先送り、SE人材の不足といった問題も顕在化しました。このような環境下、当社2022年12月期の売上高は、前年度比0.5%増の13,986百万円となりましたが、2023年2月に発表した

## 中期計画の連結売上高・利益目標

	2022年度 (実績)	2023年度 (計画)	2024年度 (計画)	2025年度 (計画)
売上高	13,986	16,200	17,000	18,000
(経常利益率)	(7.4%)	(7.7%)	(9.4%)	(10.3%)
経常利益	1,056	1,250	1,600	1,850
当期純利益	564	750	1,000	1,200

注) 当期純利益は親会社株主に帰属する当期純利益を表します。



## Q 今後の成長戦略

**A** 当社は成長戦略の1つに、SIビジネスとストックビジネスの収益を50:50にするという目標を掲げています。SIビジネスにおいては、金融業向けソフトウェア開発、製造業向け組み込みソフトウェア開発などの優良案件によりフォーカスし、確実なプロジェクト運営を行うことで、売上・収益の安定的な拡大を図ります。また、開発リソースの強化・確保に努めるとともに、社員の新技术獲得のための教育の場を増やすことで、競合優位性を築いてまいります。ストック型ビジネスにおいては、SIビジネスに並ぶ安定収益を目的に、高度な技術・ノウハウを基にしたソリューションサービスの一層の拡充を図ってまいります。当社グループは、「FinTech」、「Cloud」、「IoT」、「AI」、「CASE」などの新しいDX関連技術・ビジネスにグループ全体で取り組んでおりますが、これらのIT技術の進化には目覚ましいものがあります。引き続き、技術力、営業力のある企業との業務提携やM&Aなどの手法を積極的に活用し、スピード感を持って企業価値の向上に努めてまいります。

## Q 株主の皆様へ

**A** 株主の皆様へ安定的かつ継続的な利益還元を経営の重要課題の1つと認識しております。同時に安定的な経営基盤の構築にも努め、両者のバランスの取れた経営を目指しております。このような方針に基づき、2022年12月期の配当金につきましては、配当性向、業績等を総合的に勘案し、1株当たり期末配当金を12円とすることといたしました。

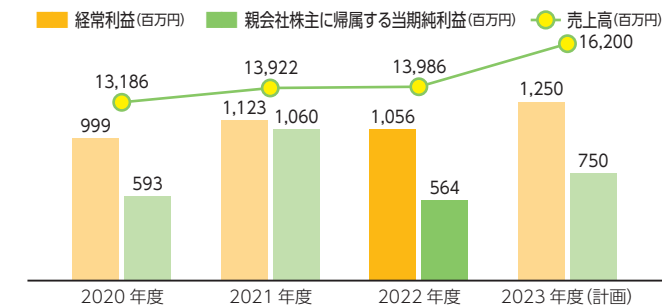
年度	年間1株当たり配当金			配当性向
	中間	期末	合計	
2020年12月期 (額は分割前)	0.00円	17.00円	17.00円	34.3%
2021年12月期	0.00円	12.00円 記念配1.5円を含む	12.00円 記念配1.5円を含む	27.5%
2022年12月期	0.00円	12.00円	12.00円	51.7%

※21年9月30日基準 株式分割(1:2)効力発生、設立40周年の記念配を発表  
※21年11月17日 1株当たり2円の増配を発表

2023年は“飛躍の年”と決めました。干支の癸卯を背景に、「これまでの努力が花開き、実り始める飛躍の年」にしてまいります。株主の皆様には、引き続き倍旧のご支援をお願いするとともに、ソルフシーズグループの更なる飛躍と持続的な発展にご期待下さいますようお願い申し上げます。

## 財務データ

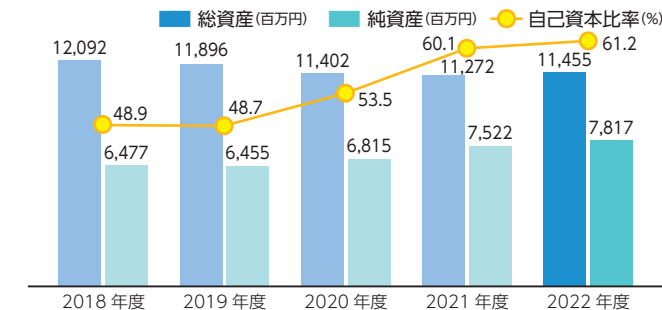
### 収益



### 当期連結収益面のPOINT

ソフトウェア開発事業は、クレジットを中心とした金融業向けおよび官公庁向け等が堅調で増収、コンサルティング事業は、自動車業界のCASE領域で需要が伸びエッジコンピューティング系を中心に増収、ソリューション事業は、半導体不足および収益認識に関する会計基準適用の影響を大きく受け減収となり、売上高は前年度比+0.5%↑の13,986百万円、経常利益は同△6.0%↓の1,056百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は同△46.8%↓の564百万円となりました。

### 財務



### 当期連結財務状態のPOINT

当連結会計年度末の総資産は、棚卸資産が増加し、固定資産において主に、クラウド事業への投資によりソフトウェアが増加したこと、当期純利益の増加による純資産の積み上げにより前期末比+1.6%↑の11,455百万円、純資産は同+3.9%↑の7,817百万円となりました。

また、自己資本比率は61.2%(前連結会計年度末は60.1%)となりました。(千円)

キャッシュ・フロー計算書(要旨)	2020年度	2021年度	2022年度
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 37,096	631,053	1,176,895
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 165,539	△ 202,379	△ 465,907
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 101,809	△ 337,357	△ 809,045
現金及び現金同等物の期末残高	4,699,126	4,790,442	4,692,385